

令和4年9月16日

報道各位

一般社団法人
全国公私病院連盟
会長 邊見 公雄

照会先：地域医療・介護研究会 JAPAN
TEL 075-366-6333
FAX 075-366-3334
携 帯 090-7106-2428

紙上記者会見要旨

全国公私病院連盟の9月の「理事会」（9月8日）を石川県・金沢市で開催しました。当日の出席者からの声や意見、地域の状況等を聞き取りましたので報告します。

1. 光熱費、食材費等の高騰で、給食が赤字。 緊急見直しを !!
委託先等からも値上げの要請があり悩んでいる。

出席者の病院からの声

電気料金は地域により 20～50%アップ
ガス料金は地域により 40～90%アップ
食材費は地域により 7～17%アップ
別に診療材料も 4～9%アップ
リネンクリーニングも18%アップ
病院経営は大変苦しい。

2. 医師の働き方改革

診療体制が維持できるか、悩みながら進めている病院が多い。

3. 看護師の処遇改善

- ・ 申請する権利があるところでも、申請しないところがある。
- ・ 精神科病院で救急車200台など、どこもない。
コロナ合併症で入院死亡者（転院不能）などいても該当しない。クラスター発生の危険も多いのに…。
- ・ どの職種にまで配るか（薬剤師以外で）悩んでいる。
- ・ いつもの新設項目の様に、絵に描いた餅になったり、いつ梯子外しがあるか心配。

4. 医療DXの推進

精神科病院からの声

初診加算になっており、元々初診の少ない精神科は不満。
個人情報（覚醒剤、犯罪履歴等）は線引きが必要。
精神科はオンライン診療に不向き。通院精神療法の加算もとれないのでクリニックでも殆ど行われていないと…。

以上